

A-LOG

A-LOGが稼働中にシステム・ダウンが起きた時、A-LOG管理データベース上に不整合レコード作成される場合があります。(必ず作成されるわけではありません)

不整合レコードが作成されると、A-LOGシステムが正常に動作できなくなります。そこで、システム・ダウン時のリカバリとしては、まず不整合レコードが作成されていないかを確認します。

A-LOGモニタをTYPE=WARMで起動後、CLOSEコマンドで正常終了させてください。
ALOGCHKユーティリティを実行して不整合レコードが発生しているかを確認してください。

・ 不整合レコードが存在しない場合
A-LOGのモニタをWARMスタートで起動し通常通り使用してください。

・ 不整合レコードが存在している場合
ALOGRENOユーティリティを実行してリナンバリングを行い、不整合レコードを除去してください。
ALOGRENOユーティリティが正常に終了したら、A-LOGモニタをWARMスタートで起動し、通常通り使用してください。
ALOGCHK、ALOGRENOユーティリティの詳細、リストの確認方法については「A-LOGシステム管理者マニュアル」をご参照ください。